

結果の概要と改善の方向

札幌市立屯田南小学校

令和8年（2026年）10月1日

本校の概要

今回の課題

改善の方向

国

語

【内容】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

▼全国平均と比べ、下回っている。

「情報の使い方に関する事項」

▼全国平均と比べ、下回っている。

「話すこと・聞くこと」

◆全国平均と比べ、ほぼ同程度であるがやや下回っている。

「書くこと」

▼全国平均と比べ、下回っている。

「読むこと」

▼全国平均と比べ、下回っている。

■話や文章の種類とその特徴について理解すること。

■比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。

■考えとそれを支える理由や事例など情報との関係について理解すること。

■相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。

■目的に応じて、必要な情報を見付けること。

■文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

○複数の種類の文章を比較し、その特徴について考えたり、意識して活用したりする学習活動の充実。

○実際に話したり聞いたりする中で触れてきた、比喩や反復、倒置などの表現の工夫についてまとめて整理する学習活動の充実。

○自分の伝えたい考えは何かを確かめた上で、自分の考えを支える理由や事例を選択できるようにするなど、情報の関係について理解する学習活動の充実。

○読む目的を明確にし、筆者の考えや文章の中で挙げられている事例、読み手自身の経験など、複数の情報を捨選択・整理・再構成しながら考える学習活動の充実。

算
数

本校の概要

【領域】

「数と計算」

▼全国平均と比べ、下回っている。

「図形」

▼全国平均と比べ、下回っている。

「測定」

▼全国平均と比べ、下回っている。

「変化と関係」

▼全国平均と比べ、下回っている。

「データの活用」

▼全国平均と比べ、下回っている。

今回の課題

■数を四捨五入して、概数で表すこと。

■整数と小数の減法の計算をすること。

■立体の体積の計算による求め方について理解すること。

■体積の意味について理解すること。

■百分率で表された割合と比較量から基準量を求めること。

■二次元の表から条件に合う数を読み取ること。

改善の方向

○概数を実感的に捉えられるように、数直線を用いるなど、数を四捨五入して概数で表す学習活動の充実。

○小数の加法及び減法の計算について、0.01のいくつ分と捉えるなどして、整数と同じ原理・手順で計算できることを理解できるようにする学習活動の充実。

○単位や測定の意味を基に、立体の体積の意味を理解できるように、具体物を用いて直方体や立方体の体積を比較する学習活動の充実。

○問題場面から、基準量、比較量、割合の関係をとらえることができるようにする学習活動の充実。その際、何が基準量で何が比較量にあたるのかを的確に把握し、計算に結びつけるようにする。

○データを二つの観点から分類整理する方法について理解し、目的に応じて、表を作成したり、必要な数値を読み取ったりする学習活動の充実。

児童質問紙調査結果から

「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した合計を「肯定的な回答」として全国平均と比較し、特徴的だった質問事項を示します。

◇全国平均と比べ、「肯定的な回答が上回っているもの」◇

- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- ・困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
- ・ICTの活用：学校での活動でプレゼンテーションを作成することができると思いますか。

◇全国平均と比べ、「肯定的な回答が下回っているもの」◇

- ・自分にはよいところがあると思いますか。
- ・将来の夢や目標をもっていますか。
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ・わからないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
- ・学校の授業時間以外に読書をしますか。
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。
- ・国語（算数）は、得意ですか。
- ・国語（算数）は、好きですか。

◇その他

- ・1日あたりどれくらいの時間、SNSや動画視聴などをしますか。→全国平均より長い。

改善の方向

- ・子どもたちへの励まし、困ったとき（困っているとき）の対応など、学習や学校生活で、今後も子どもたちに寄り添い、よさを認め、伸ばしていけるよう関わっていきます。
- ・学校が楽しいと感じていない児童が全国と比べて多いことを踏まえ、教育活動や様々な関係性の充実を図れるよう引き続き取り組みます。
- ・今後の自分自身、夢や成長について考えていけるよう、校外学習や出前授業など、本物に触れる体験に積極的に取り組んでいきます。